

令和6年度2学期始業式 校長式辞

おはようございます。2学期のスタートです。1年生は2枚目、2年生は5枚目、3年生は8枚目のカードを切るときが来ました。どんな勝負を仕掛けるか、夏休み中に考えましたか。それを積極果敢に実行に移すのがこの2学期です。期待しています。

さて、夏休みが終わったといっても、先月後半から夏季課外が始まっていたので、夏休みの終了を実感することはないかもしれません。でも、9月に月が変わるとやはり気持ちとして新学期のスタートを強く感じます。夏休み中に特に大きな事故や怪我・病気などの報告は受けておりません。皆さんがここに揃っているのを見て、校長としてホッと胸をなで下ろす気分です。

なぜそのような気持ちになるかというと、全国を見れば残念ながら夏休み中に命を落とす児童生徒が毎年少なからずいるからです。昨年度のデータですが、7月・8月に水難事故にあった人の数は568人。内、死亡・行方不明者は236人です。過去5年をさかのぼっても、死亡・行方不明者が200人を下回った年はありません。もちろん、全員が小・中・高校生ではないのですが、この時期には水難事故以外の理由でも、例えば不慮の交通事故等で命を落とす児童生徒も少なくありません。ですので、2学期の始業式でクラスメイトやその家族の冥福を祈って黙祷を捧げている学校が日本のどこかに何カ所もあることを考えると、皆さんがこのように、元氣かどうかは抜きにしても、少なくとも登校していることはやはり喜ばしいことなのです。みんながこのように揃っているということは当たり前前のことではなく、みんなが事故に遭わないように気をつけた結果であると同時に、事故に遭わなかった幸運が重なった結果でもあるということを忘れてはなりません。今ここに生徒職員が揃っていることは有り難く感謝すべき事柄なのです。自分の命を大切にすることはもちろん、それと同じレベルで他人の命も大切にする行動をこれからも継続してほしいと思います。

「人生 生きてるだけでまるもうけ」

このフレーズは、お笑い芸人の明石家さんまさんが、沖縄出身のバンド・ビギンに唄のコンセプトを伝えて作らせた「笑顔のまんま」という曲の一節です。「人生は生きてるだけでまるもうけ」で、それだけで有り難いことなのだから、辛いことや悲しいこともあるかもしれないけれど、いつも笑顔を忘れずにポツポツ頑張っていることや、というメッセージだと私は解釈しています。私もあなたも生きてるだけで合格点は超えているのだから、あとは小さなことにくよくよせず、肩肘張らず緩くいきましようという感じですよ。生きている自分がホンワカとした暖かい空気に包まれて楽になるような気がするのです。私はこの曲が大好きなんです。生きることに肯定的になれる。自分の命を大切にしたい。同時に他人の命もです。

他人の命を大切にするという点では、7月に嬉しい出来事がありました。本校の男子生徒6名が、御高齢の来島者がウォーキング中に行方不明になった際、捜索に協力して無事発見・保護することに貢献したということです。御高齢でもあり暑い日が続いていたので、熱中症の危険もあり、命に関わる事故につながる可能性もあったので、無事発見されたときにはきつとたくさんの笑顔の花が咲いたことと思います。実にあっばれな行動でした。

笑顔の花が咲くという点では、本校生のアルバイト先から嬉しい言葉が私まで伝わっています。「夏休み中、与論高校生がアルバイトに来てくれたことで職場に元氣がもたらえた」とか「夏休みが終わって彼らがアルバイトに来なくなるのが残念だ」など、皆さんがアルバイト先で浚刺と働き、周囲を明るくし、貴重な戦力として認められていたことが想像できます。働くことの意味については、先日配布した「校長通信」にも書きました。「どうすれば人の役に立つか」「どうすれば人に喜んでもらえるか」を

追求して働くことで周りから感謝され、笑顔の花を咲かせることになる。それによって自己肯定感も高まります。そして、自分に自信が持てるようになる。そのように自分を成長させていってほしいということなのです。アルバイト以外にも周りの人を笑顔にする行動はいくらでもあります。ボランティアなどは、その最たるものでしょう。ボランティアには高校生の内にできる限りチャレンジしてください。ボランティアでなくても、日常の家の手伝いや見ず知らずの人に対するちよつとした配慮なども、「人の役に立つ」「人に喜んでもらえる」立派な行動です。そして最後に付け加えますが、このような「人を笑顔にする」行動のクオリティを高めるには、やはり知識や柔軟な発想が必要になってきます。だからこそ、日々の勉強が必要になるということです。ここで「脳に汗をかく」ことを忘れないでください。

「笑顔のまんま」の最後のフレーズは次の通りです。

「僕が笑いを君にあげるから 君の笑顔を僕にください」

明石家さんまさんはお笑い芸人ですから、面白いことを言って人を笑わせ笑顔にさせるのですが、皆さんはどのようなやり方で人から笑顔をもらいますか。それを追求していくことが結局は自分の進路や職業を考えることにつながるのです。一つの曲、一つのフレーズを深掘りしていけばこんなことまで考えることができます。考える題材は意外と身近なところに転がっているんですね。だからこそ人生は面白いのです。

「人生 生きてるだけでまるもうけ」

2学期もいろんなことがあると思いますが、生徒・職員そろって明るく前向きに取り組んでいきましょう。以上で、2学期始業式の式辞といたします。